



議会だより

よし たけ
今回の題字は、吉武さつきさん（向原小学校6年生）です。



歌声いっぱい 花いっぱい 笑顔いっぱい
安芸高田市立向原小学校

歌声いっぱいの学校づくり
NHK全国学校音楽コンクール
広島県コンクール参加



花いっぱいの学校づくり
向原中学校と一緒に
「花いっぱい活動」



笑顔いっぱいの学校づくり
地域の方と「昔あそびの会」



主体的・協働的な学びをめざした授業づくり
安芸高田市ICT導入モデル校

議会新体制……………2～3
 12月定例会……………4～5
 常任委員会報告……………7～9

一問一答
 11人が**市政を問う**…10～15
 あんな こんな
地域のかがやき……………18

議長

先川 和幸



市民との接点を増やしなが
ら、その声を市政に反映させ、
また時代の变革に機敏に対
応でき得る議会をめざします。

体制

28年12月~

さらなる推進



大下 正幸

新田 和明

秋田 雅朝

芦田 宏治

宍戸 邦夫

玉重 輝吉

水戸 眞悟

玉井 直子

先川 和幸

前重 昌敬

石飛 慶久

児玉 史則

熊高 昌三

山本 優

青原 敏治

金行 哲昭

山根 温子

塚本 近

議長と副議長の役割

議長は、議場の秩序保持、議事の整理、議会事務の統理をし、議会を代表する権限を有しています。

副議長は、議長に事故や議長が欠けたときに議長の職務を行います。

常任委員会の役割

多数の議案等の審議を本会議において全議員で進めるより、議会の内部に複数の常任委員会を設けて分担して行うことがより能率的・効果的です。そのため、議員は常任委員会に所属をし、分担されている所管に従って専門的に議案等の審査や調査を行います。本市議会は、同じ常任委員会に2年間在任します。

監査委員

石飛 慶久

茨北広域環境施設 組合議会議員

前重 昌敬
熊高 昌三
金行 哲昭
青原 敏治
先川 和幸

広島県後期高齢者 医療広域連合議会 議員

秋田 雅朝

市民の本意に基づいた議会運営に努め、多様化する住民の意思に対応できる議会活動の深化に努力します。



副議長
水戸 眞悟

議会新



議会改革の

産業建設常任委員会

<所管>

産業振興部、建設部、公営企業部、農業委員会

	委 員	副 委員 長	委 員 長
金 行	熊 高	山 本	新 田
哲 昭	昌 三	優	和 明
		玉 重	輝 吉
		大 下	正 幸

文教厚生常任委員会

<所管>

市民部、福祉保健部、福祉事務所、教育委員会

	委 員	副 委員 長	委 員 長
水 戸	青 原	児 玉	玉 井
眞 悟	敏 治	史 則	直 子
		前 重	昌 敬
		秋 田	雅 朝

総務企画常任委員会

<所管>

総務部、企画振興部、会計課、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会、消防本部

	委 員	副 委員 長	委 員 長
先 川	塚 本	石 飛	芦 田
和 幸	近	慶 久	宏 治
		山 根	温 子
		穴 戸	邦 夫

議会広報特別委員会

<所管>

市民の皆様へ議会と市政への理解を深めていただくため、議会の活動状況や審議内容を広く周知する議会だよりの発行。

	委 員	副 委員 長	委 員 長
前 重	玉 井	芦 田	新 田
昌 敬	直 子	宏 治	和 明
		玉 重	輝 吉
		山 根	温 子

議会運営委員会

<所管>

定例会・臨時会の会期の調整や日程事項、質問者の順序の調整等、円滑な議会運営全般について協議、意見調整。

	委 員	副 委員 長	委 員 長
塚 本	秋 田	穴 戸	大 下
近	雅 朝	邦 夫	正 幸
		児 玉	史 則
		熊 高	昌 三

予算決算常任委員会

<所管>

予算及び決算に関する事項

	委 員	副 委員 長	委 員 長
除く	議 員	議 長 を 除 く	玉 井
			直 子
			青 原
			敏 治

※決算審査は監査委員も

可決

人事院勧告による市職員給与、特別職・市議会議員期末手当引上げ 医療費控除の特例

条例改正

12月定例会

12月定例会を12月9日～22日までの会期で開催しました。

一般会計、特別会計水道事業会計など9会計の補正予算は、予算決算常任委員会へ付託しました。(補正予算審査は6ページに掲載)

各常任委員会では、付託された議案や所管事務調査を実施しました。(各常任委員会の審査は7～9ページに掲載) 本定例会において付議された22議案について、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問では、11人が市政を問いました。(10～15ページに掲載)

議案第76号

○職員給与に関する条例等の一部を改正する条例

■質疑

玉重 委員会での質疑は。

■**穴戸総務企画委員長** 委員長報告のとおり。

■討論

■賛成討論

玉重 人事院勧告に該当する大企業が当市にない。企業誘致で必ず結果を出す事を強く要望する。

■採決

全員賛成

議案第77号

○特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

■討論

■反対討論

玉重 市長は現在、減給処分中であり、市民の理解は得られない。

■採決

■賛成

新田 芦田 玉井
山根 前重 石飛
児玉 大下 山本
熊高 穴戸 秋田
塚本 金行 青原
水戸

■反対

玉重

賛成多数

議案第78号

○市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

■討論

■反対討論

玉重 現在の安芸高田市の混乱は議会にも責任があり、市民から理解が得られない。

■採決

■賛成

新田 芦田 玉井
山根 前重 石飛
児玉 大下 山本
熊高 穴戸 秋田
塚本 金行 青原
水戸

■反対

玉重

賛成多数

議案第79号

○税条例の一部を改正する条例

■質疑

金行 医療費控除及び課税特例による市への影響は。

■小笠原市民部長

特定一般用医薬品の購入費用を控除するもので、医療控除との併用はできない。また、特定適用利子及び配当等に係る市民税の課税特例は、二重課税防止でごくまれな件と考え、ほとんど影響はない。

■採決

全員賛成

議会活性化

さらなる議会改革に向けて 議会改革特別委員会

設置

目的 議会基本条例の制定

内容 ●議会基本条例 ●議員定数
●市民と議会との関係 ほか

委員構成 委員長：塚本 近 副委員長：玉重 輝吉
委員：新田 和明 芦田 宏治 山根 温子 熊高 昌三

経緯

前回の議会改革特別委員会（27年7月～28年11月）では、「結論が得られなかった項目や議会基本条例の条文については、今後とも継続して調査検討すべきと考える。」として終了しました。

議会の新体制が決まり、引き続き議会改革を進めていくために早急に特別委員会を設置すべきという認識から、本定例会において設置しました。

議会の理念や基本方針を定めた議会基本条例の制定に向けて、特別委員会で調査検討を行い、全員協議会において議論してまいります。



諮問（1件）

人権擁護委員の推薦

五郎丸玲子 さん

八千代町佐々井

承認

発議（1件）

○地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書について

概要

国民の幅広い層からの政治参画や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備の実現を求めるもの。

全員賛成

メモ

○医療費控除の特例の概要

健康の維持増進及び疾病の予防への取り組みとして、健康診断などを受けている人が、29年1月1日以降に、特定一般用医薬品（医療用から転用された医薬品）を購入した際に、その購入費用について所得控除を受けることができるものです。

従来の医療費控除制度との同時利用はできません。
この特例は29年分の確定申告から適用できます。



28年度補正

一般会計 4億3921万1000円を追加 (総額 206億989万9000円)

可決

平成28年度 安芸高田市一般会計補正予算(第3号)の主な内容

○歳出

単位:千円

区分	金額	内訳	内容
①施設等の修繕	24,848	3,922	本庁、アージョエレベーター修繕(5基)、甲田支所空調改修工事
		2,033	保育所遊具、エアコン、厨房機器等修繕
		3,274	小学校プール循環浄化装置、濾過装置、屋根漏水、受水槽等修繕
		1,946	中学校屋根漏水、暖房施設等修繕
		4,000	吉田運動公園照明修繕
		1,000	八千代B&G外構工事
		8,673	その他修繕
②新規実施による補正	278,874	85,277	甲田認定子ども園用地取得等
		108,308	臨時福祉給付金事業
		31,795	市道法面修繕
		38,189	施設の整備・改修・解体
		6,300	経営体育成支援事業
		9,005	その他
③事業量の増減による補正	△4,787	85,401	災害復旧費の増(農地、農業施設、林業施設、土木施設)
		25,896	私立保育園措置委託料等の増
		9,271	後期高齢者医療広域連合負担金の増
		7,860	農地・農業用施設関係補助金
		△17,800	地方創生加速化交付金の減による事業費の減
		△142,051	国庫補助金、県補助金の確定による減
		26,636	その他
④人件費	△ 27,786	△ 27,786	人事院勧告による職員給与の増、職員共済費の額確定による減等
⑤基金積立	199,451	199,451	ふるさと応援基金、市有住宅管理運営基金、過疎地域自立促進基金
⑥その他	△ 31,389	△ 31,389	特別会計繰出金等
歳出合計	439,211		



認定子ども園予定地(市甲田支所付近)



災害復旧場所の一部(美土里町生田)

総務企画常任委員会

12月16日に委員会を開き、議案4件を慎重に審査しました。

(主な審査)

- 相互救済事業の委託について
- 職員給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
- 市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

- 委員長 穴戸邦夫
副委員長 山根温子
委員 芦田宏治
石飛慶久
塚本近
先川和幸

平成29年度の特例措置廃止により、委託先変更

「一般財団法人全国自治協会」から 「公益社団法人全国市有物件災害共済会」

■概要

公有財産（市が所有する建物や自動車）の火災その他の災害（風水害・雷含む）による財産の損害に対する補てんを行う相互救済事業について委託先を変更するもの。

■質疑

塚本 委託先の変更による29年度以降の分担金は。

山中財産管理課長

全国自治協会（以下、自治協会）の分担金は、29年度に特例措置廃止のため約3倍になる。市有物件災害共済会（以下、共済会）に変更した場合、現在自治協会に払う金額と同額になる。

石飛 保険加入の継続の必要性、共済会の補償内容の検討は。

山中財産管理課長

補償内容はほぼ同じ、本市は特に建物等への落雷被害が毎年かなりある。自動車の損害発生もあり、加入し

ておくべきと判断。

山根 他に、セーフ

ティーネットの役割を果たす団体、あるいは他の保険機関を使っている自治体はあるか。

山中財産管理課長

自治体が相互救済事業で行っている団体は自治協会と共済会のみ。内藤財産管理課長補佐

全国の市は791団体で、会員は690団体、非会員は101団体。非会員は安芸高田市を始め、合併時に町村が市となった団体。このほとんどが移行予定。

28年度共済物件数及び分担金

建物共済	自動車共済
575物件	186台
6,020千円	4,177千円

人事院勧告に基づいた条例改正

職員給与引上げ、特別職・市議会議員賞与の引上げ 扶養手当の見直し、介護休暇の分割と介護時間の新設

■概要

28年8月8日に出された人事院勧告の内容及び広島県人事委員会の勧告、並びに県内他市の状況等を踏まえ所定の改定を行うもの。

職員給与 平均0.2%引上げ
特別職・市議会議員の期末手当 0.10月引上げ

配偶者扶養手当を段階的に減額し、その原資の範囲内で子への手当額引上げ
介護休暇3回以下、かつ合計6月以下で分割可
介護時間連続する3年以下、2時間/日以下可

文教厚生常任委員会

12月19日に委員会を開き、議案3件を慎重に審査しました。

(主な審査)

○介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員等の一部を改正する条例

○介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員等の一部を改正する条例

○安芸高田市立学校設置条例の一部を改正する条例

- 委員長 秋田雅朝
- 副委員長 前重昌敬
- 委員 玉井直子
- 委員 児玉史則
- 委員 青原敏治
- 委員 水戸眞悟

介護保険法の一部改正

～指定・指導・監督権限が市町村へ～

■概要

- ①小規模な通所介護事業所について、「地域密着型サービス」に移行するための条例改正
- ②利用定員が18名以下の小規模な事業所については、地域密着型通所介護事業所として安芸高田市が指定
- ③「地域密着型通所介護事業に係る基準」の創設



地域密着型デイサービス利用の様子

■質疑
 児玉「通所介護事業所」が「地域密着型通所介護事業所」に移行し、市が指定権者になることにどういった影響があるのか。
中野高齢者福祉課長 市が指定及び監査・指導を行うことにより、市の業務は若干増えるが、利用者については影響ない。
 児玉「地域密着型通所介護事業所」は、市で独自に基準を定めることができるのか。
中野高齢者福祉課長 市が独自で基準を定めることはできない。

安芸高田市立学校設置条例の一部改正

■趣旨

- ・可愛小学校、郷野小学校を統合し、「**愛郷小学校**」へ
- ・統合年月日：**平成31年4月1日** ・統合場所：現在の**可愛小学校**



現在の可愛小学校全景



現在の郷野小学校全景

産業建設常任委員会

12月20日に委員会を開き、4件の所管事務調査を行いました。

(所管事務調査)

- 熊対策について
- ジビエの取り組み経過について
- 地域おこし協力隊の活動状況について
- 竹チップの活用について

委員長 大下正幸
副委員長 玉重輝吉
委員 新田和明
山本 優
熊高昌三
金行哲昭

熊対策について

広島県内ツキノワグマ捕獲・放獣等状況 (頭数)

年度	捕獲数	有害捕獲	錯誤保護	緊急避難	放獣	除去数
22	107	73	26	8	2	105
23	16	10	4	2	2	14
24	16	15	1	0	2	14
25	14	5	8	1	2	12
26	35	15	19	1	0	35
27	23	8	14	1	0	23

ツキノワグマ

狩猟

許可捕獲

狩猟期間の狩猟：不可
※広島県では、第一種特定鳥獣保護管理計画で保護動物に指定されており狩猟は不可。

捕獲許可権限者：県
※農林水産業への被害、人間に被害を及ぼす場合に許可される捕獲。

※ツキノワグマ放獣基準に基づいて、捕獲個体の処分又は放獣の判断は市町が県に協議し、最終判断は住民の安全を確保する観点から市町が行っている。

質疑

熊高 広島県ではある程度熊の生息数は掌握されていると思うが、広範囲の移動実態掌握をどこまでしているか。

稲田農地利用係長

広島県の5年に1回の調査によると、21年〜22年の実態調査で県西部中国山地で450頭〜1290頭生息状況。安芸高田市内にて28年の目撃状況は100回以上に27年はどんぐりが豊作の状況で、その影響により生まれた小熊が成長したと把握している。

ジビエについて

～ジビエ事業の費用対効果は適正なのか～

質疑

玉重 約500万の売り上げに対し、1200万〜1300万の経費で赤字だが、今後の見通しは。

清水産業振興部長

収支のみ考えると赤字の状態である。課題整理をしながら、民間の力を借りるような方法も模索しながら事業展開を探っていきたい。

年度	26年度	27年度
解体頭数(シカ)	98頭	246頭
解体頭数(イノシシ)	3頭	18頭
販売実績	食用シカ肉	1,119.2kg
	(市内販売用)	471.8kg
	食用イノシシ肉	196.7kg
	ペット用シカ肉	4,051.0kg
販売金額	1,516,072円	4,510,648円

一問一答

11人が 市政を問う

一般質問は発言者本人が文章を作成しています。



突戸 市長のマニフェストに、「市民の生活相談に応じるため、生活相談員を配置する」とある。取り組み状況は。
市長 現在、甲田町高田原（14区）をモデル地域とし生活支援員を1名配置。65歳以上の方を対象に、個々の課題について訪問（調査）を行っている。今後は全市を対象に、市民のライフステージに応じたきめ細やか



突戸 邦夫
(無所属)

市長 マニフェスト

**各地域に生活相談員
（生活支援員）配置は
市長／全市を対象に
組織づくりを進めたい**

で適切な生活支援ができる組織づくりを進めたい。



生活支援員配置モデル地区（JR甲立駅付近）

働く場の確保に ついて

突戸 「高速通信網を活用した雇用の確保をする」とあるが。
市長 関係機関との協議を進めており、来年度には公共施設の空スペースを活用し、実証実験を行うよう検討している。

山根 出張旅費問題再燃についての道義的責任は。
市長 選挙で選択を受け、給与カットもしている。返納し、人口減対策で、市民の負託に応えていく。



山根 温子
(無所属)

出張旅費問題再燃

認識・道義的責任・自覚と責任感は

市長／速やかに返納し、市民の負託に応えていく

市長 課題把握と可能な支援を検討する。

山根 地元企業の声の傾聴と支援は。

企業留置に向けたフォアローについて

市長 今後の参考に。

山根 薬局における患者への個別支援は。

糖尿病性腎症重症化予防プロジェクトについて

市長 農業委員会の議論と決定による。

山根 空き家に付属した農地を空き家とともに取得する場合に、農地法の下限面積要件を、1アールまで引き下げた自治体があるが本市は。

農地法第3条と空き家バンクから人口減少対策のフォアロー支援について

市長 農業委員会の議論と決定による。

山根 空き家に付属した農地を空き家とともに取得する場合に、農地法の下限面積要件を、1アールまで引き下げた自治体があるが本市は。

農地法第3条と空き家バンクから人口減少対策のフォアロー支援について

～空き家と一緒に農地を「売りたい」「買いたい」方へ～

農地法第3条の下限面積を引き下げました!

23の市農業委員会は、平成28年4月1日より、空き家に附属した農地を空き家とともに取得する場合であって、各種条件を満たす場合^{※1}農地法第3条による下限面積（制限の面積）要件を1アールまで引き下げます。

売買や賃貸が難しい空き家に附属した農地について、下限面積を引き下げることで、遊休農地解消にも寄与し、市外からの新規就農を目的とする移住促進につながることを目的としています。

※1主な条件は、

- ・適用を受ける農地のすべて又は一部の遊休農地であること
- ・適用を受ける農地に附属した空き家は、空き家バンクに登録されていること

【手続きフロー図】

1. 「空き家に附属した農地の指定申請書」を農業委員会に提出し（農地所有者）
2. 翌月の農業委員会において、適用する農地が否かの判断をし、公示!
3. 農地所有者へ判断結果の通知
4. 空き家の売買・賃貸の契約を締結（農地所有者＋農地希望者）
5. 農地法第3条許可申請書を農業委員会に提出（農地所有者＋農地希望者）
6. 翌月の農業委員会において、審議し許可書発行!

※2農地法第3条による許可を受け取るためには、農地の権利取得をする方が、次のすべてを満足する必要があります。

- ・耕作する農地の合計面積が下限面積以上であること
- ・（この要件が1アールまで引き下げられます。）
- ・所有している農地または耕作している農地のすべてを効率的に耕作すること
- ・申請者または世帯員等が農作業に専任従事すること
- ・申請農地の用途の農地利用に影響を与えないこと

＜お問い合わせ先＞
 ○空き家に附属した農地に関すること 23の市農業委員会 (0984-35-1111)
 ○23の市空き家バンクに関すること 23の市住宅・定住支援センター (0984-27-3242)

「空き家つき農地」制度に向けて 宮崎県えびの市

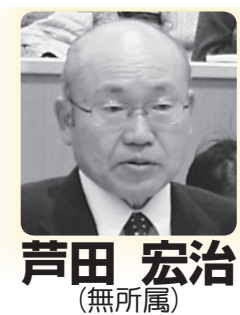
教育長 「社会を生き抜く力」として、

青田 10年間青少年の教育施設として小中学校の宿泊合宿に取り組み、どのような成果があったか。

市長 極力、市民の意見を聞いて、その方向性を幅広い角度から検討していきたい。

青田 自然の家は29年3月で利用停止となるが、今後の施設活用方針を問う。

市長 極力、市民の意見を聞いて、その方向性を幅広い角度から検討していきたい。



芦田 宏治
(無所属)

安芸高田少年自然の家

利用停止後の施設の活用は

市長／市民の意見をよく聞いて検討

必要な基礎的能力を養う場として重要な役割を果たしてきた。



29年3月末で利用停止となる安芸高田少年自然の家

青田 来年度の宿泊体験活動実施計画は。
教育長 小学校5年は三瓶青少年の家、3年はエコミュージアム川根のほか、校舎を利用した宿泊を検討中の小学校もある。中学校1年は福山少年自然の家、八千代中学校は鶴学園八千代校舎を利用予定。

高齢者の運転免許返納

高齢者の運転免許返納でタクシー利用券の支援は市長／課題が大きいので、検討する



金行 哲昭 (無所属)

金行 予算編成にあたり、総合戦略重要

29年度の予算について

金行 高齢者の運転免許返納状況は。また、支援内容にタクシー券は。市長 「高齢者運転免許自主返納支援制度」は、運転免許を自主返納した75歳以上の高齢者に支援する事業で、23年から28年現在までに302名の方が利用されている。タクシー利用券は課題が大きいので、検討する。



安全運転を心掛けて

事業評価目標を踏まえ、基本方針は。市長 厳しい財政状況であるが、総合戦略の検証も踏まえてスリムな行政体質に転換し、新たな事業にあてる財源を生み出し、活力ある地域社会の形成事業に取り組んでいく。

若者定住の施策の成果と課題

市長／見直しを含めた検討をする。

定住対策



大下 正幸 (無所属)

大下 子育て・婚活定住のための補助金交付の条件で、住宅を新築する場合、市内の子育て世帯が市外の子育て世帯の半額の内容となっている。人口減少に歯止めをかけるために



若者定住に向けたやさしい施策を

も、若者定住対策の事業内容の見直しを考えるべきでは。市長 定住は行政の最重要点事業であるので、課題があれば見直しを含めた検討をこれからする。

場合に農地法で農地の下限面積が50アールでは難しい。県内でも空き家に付いている農地の下限面積1アールの町が2町あるなか、市の下限面積を変えるべきでは。市長 若者定住に影響があれば見直しを考える。

青原 屋外スピーカー設置が、市にとって市民生活における安心安全な暮らしができると思うが、今後の方向性と対応は。

市長 お太助フォンに接続した屋外放送は、多額な費用が発生するなどの課題がある。これまでも答弁をしているが、災害時の情報伝達としてお太助フォンの活用、市や消防団による広報を行うことに



青原 敏治
(無所属)

防災について

市民生活における
安心安全な暮らし
市長／市民の安心安全を
図っていく

より、市民の安心安全を図っていききたいと考えている。総合的な防災を含

めて、安芸高田市がどうあるべきかというのはいいい機会だと思うので、検討もしていきたい。

このことはつくるという約束ではないが、検討はしていきたいと思う。



屋外スピーカー

秋田 高齢者福祉の充実には、高齢者の方が地域で安心して暮らせる支援策の充実が必要と考えるが。

市長 地域住民が支え合う共助の重要施策「安心生活創造事業」で登録訪問員に



秋田 雅朝
(無所属)

地域福祉体制の構築・充実を
市長／安心生活創造事業・生活支援員で支援を充実

秋田 多様化する高齢者ニーズに対する

よる見守りを実施しており、お互いさまの活動が地域に広がっていると考えている。今後は、地域の見守りの弱体化も懸念されるので、地域で安心して生活できる支援の充実を図る。

来年度の重点施策は。

市長 高齢者の潜在的ニーズを把握し、きめ細やかな支援体制の構築を目指す「生活支援員」の配置で地域課題の分析と実施を行う。

また、見守り体制の拡充・整備を重点に進める。



安心生活創造事業の生活介護サポーター養成講座の様子

県と一体となって 防災対策を

急傾斜地崩壊 危険区域の対策

市長／安全な事業と示したい



石飛 慶久
(無所属)

石飛 「郡山城跡麓の急傾斜地崩壊危険区域の対策」が、対策事業として全く表に見えてこない。
市長 吉田高校の裏山から国道54号線付近までの約770mを県事業採択してい

活用計画の必要性

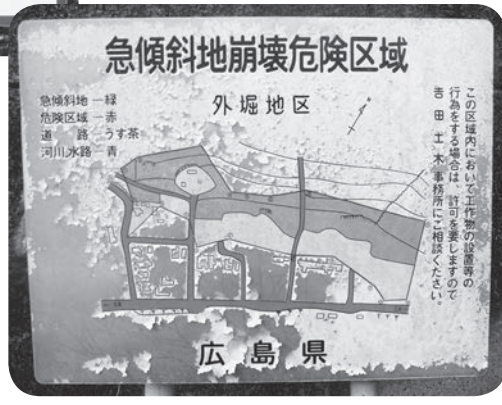
石飛 現状の郡山維持管理は、不十分。郡山城跡保存維持管理活用計画の必要性を問う。

る。現在は200m着手した。今年度中には、市民に大切な事業と啓発したい。

市長 管理計画は、28年経過した。郡山城と甲立古墳の管理・活用を検討したい。

石飛 「輝り里」の端境期の対応策は、

教育長 端境期における活用計画はない。スピーディーに対応したい。



市民を守る防災対策を！

介護保険改正

関係機関、団体等との体制整備、市民への説明・周知は

市長／施設関係者等への説明会実施、市広報への掲載



前重 昌敬
(無所属)

でさらに周知を図り、円滑な移行へ努めていく。

前重 「介護予防・日常生活支援総合事業」へ移行するため、関係機関、団体等との体制整備、市民への説明、周知は。
市長 介護保険施設関係者等を対象とした説明会の実施、安芸高田市広報12月号への特集記事を掲載し、市民の皆様へ啓発している。
また、要支援1、2の認定を受けている方へ、今年度中に個人通知を行うこと



介護保険施設での介護予防事業

前重 生活支援体制整備の協議体はいつ頃設置予定か。
可愛川福祉保健部長 今後市長と協議し、慎重に決めていく予定である。

子育て支援

支援の状況は

市長／育児の支援等を行い
健全育成を推進



玉井 直子
(無所属)

玉井 子育て支援センターの利用状況と支援内容は。
市長 保護者の育児や家庭環境に関する不安等についての相談の受付、育児の支援等を行い児童の健全育成を推進している。プレイルームの利用や子育て交流会を毎月実施し、たくさんのお親子に参加いただいている。

玉井 支援内容の見直しや強化は。
市長 課題も整理しながら次のステップに向かっていきたい。

玉井 ファミリーサポートセンター事業については。
市長 24時間保育を政策に挙げられるのはファミリーサポートセンター事業のおかげ。啓発をし多くの方に知ってもらい、放課後保育だけでなく大いに利用してもらいたい。



プレイルーム

在宅介護

認知症対策は

市長／サポート医の設置を検討していく



児玉 史則
(無所属)

児玉 認知症の重症化を防ぐためには、専門職の判断が必要。ケアするシステムが必要ではないか。
市長 サポート医が必要。新年度予算の中で検討する。



タブレットを活用した授業風景

児玉 認知症の症状の市民への啓発が必要では。

市長 認知症に対する知識が我々を含め不足している。地域の協力が大事。責任を持って啓発する。

29年度 教育予算編成

児玉 29年度教育予

算編成の考え方は。
市長 当市が存続するためには、教育は欠かせない一つの柱。学力が上がるシステムへの投資が大事。
教育長 ICT機器の整備等、学力向上のための環境整備を積極的に推進する。

12月26日芸北広域環境施設組合議会の定例会が北広島町で開催され、議案2件を慎重に審査し、いずれも原案のとおり可決・認定しました。

(主な審査)

○広島県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び広島県市町総合事務組合規約の変更について

可決

○平成27年度芸北広域環境施設組合歳入歳出決算認定について

認定

組合議会議員

- 前重昌敬
- 熊高昌三
- 金行哲昭
- 青原敏治
- 先川和幸
- ほか北広島町
- 3名

平成29年4月1日から 北広島町芸北地域が加入へ

芸北地域
ごみ量

ごみ焼却施設
年間：237 t
現在処理量の2%

粗大ごみ処理施設
年間：58 t
現在処理量の4%

ストックヤード施設
年間：45 t
現在処理量の38%

処理可能！

[平成27年度決算]

ごみ総処理量 **12,371 t**
前年度比 **220 t 増加**

歳入総額 5億9980万円
(前年度比 264万円増)

(主な歳入)

市町負担金

○安芸高田市

2億6007万円 (前年度比240万円増)

○北広島町 1億4251万円

(前年度比259万円増)



歳出総額 5億5784万円
(前年度比 818万円増)

(主な歳出)

衛生費(ごみ処理費)

4億9798万円

(前年度比37万円減)



ごみの分別等効果あり!

監査委員意見(抜粋)

- ・ごみ処理量増加について、特定することは難しいが減量化対策のさらなる調査・考察を継続するように。
- ・施設の日曜開場利用者も年々増加傾向にあり、費用対効果を踏まえた今後の展開に検討を。
- ・きれいセンターの広報及び環境教育がごみの分別・減量化に最も高い費用対効果が望めることから、こうした事業を重点的に取り組まれるように。

第4回臨時会

12月2日に開催された第4回臨時会において、正副議長の選挙を行いました。本市議会では、投票を行う前に所信表明会を開催して、正

副議長それぞれ就任を希望する議員が、所信表明を行う機会を設けています。所信表明会終了後、議場において投票を行い、その結果は次のとおりとなりました。

議長の選挙

議長立候補者

(所信表明者)

山根温子 議員
先川和幸 議員
前重昌敬 議員

選挙・投開票

投票者数 18名
有効投票数 18票

(開票結果)

先川和幸 議員 10票
前重昌敬 議員 6票
山根温子 議員 2票

先川和幸 議員

当選

議長就任

副議長の選挙

副議長立候補者

(所信表明者)

秋田雅朝 議員
水戸眞悟 議員

選挙・投開票

投票者数 18名
有効投票数 18票

(開票結果)

水戸眞悟 議員 12票
秋田雅朝 議員 6票

水戸眞悟 議員

当選

副議長就任

議会のうごき

議会のうごき 10月~12月の議会の主な活動状況

10月

3日 議会広報特別委員会
20日 全員協議会
議会広報特別委員会

11月

2日 議会広報特別委員会
4日 議会運営委員会
24日 新議員研修会
25日 新議員研修会

12月

1日 全員協議会
2日 第4回臨時会
議会運営委員会
8日 議会広報特別委員会
9日 第4回定例会(開会)
12日 予算決算常任委員会
13日 一般質問
14日 一般質問
16日 総務企画常任委員会
19日 文教厚生常任委員会
20日 産業建設常任委員会
議会運営委員会
22日 第4回定例会(最終日)
全員協議会
27日 議会広報特別委員会

■29年第1回定例会は2月23日から開会を予定しています

※詳細は、お太助フォンや市のホームページでお知らせいたします。

インターネット議会中継 本会議・一般質問

〔視聴方法〕

市ホームページ → 安芸高田市議会 → 議会中継

<http://www.akitakata.jp/ja/parliament/>

インターネット回線の状況やUSTREAM社のメンテナンス、その他ご利用のパソコン環境などにより、正常に視聴できない場合がありますので、ご了承ください。

傍聴記

吉田町

山岡和子さん

ここ数年、議会傍聴はしていませんでした。市民のことを考えるのではなく、自分達の勢力争いばかりしている議会に嫌気がさしていたからだ。

昨年十一月の選挙で新人議員も誕生したことで、議会の空気も変わったかなと一般質問を傍聴に行った。

初日の午前中傍聴したのだが、期待に違わず、真剣に市民のことを考えての発言だと好感が持てた。

これからの安芸高田市の未来のために頑張ってください。

地域のかがやき

吉田 一年の計は元旦にあり



吉田空手スポーツ少年団元旦稽古

八千代 大勢のみなさんの前で 元気にがんばりました



ひの川幼稚園発表会 (11月27日)

美土里 にぎやかな初詣



横田八幡神社 (1月1日)

高宮 よさこいソーラン節



下佐振興会新年互礼会 (1月22日)

甲田 “とんど” 地域のみなさんで 協力して



甲田15区振興会 (1月14日)

向原 幸運を引き寄せろ!!



向原健康綱引き大会(1月22日)

編集後記

改選後初の議会だよりです。このたび広報委員となった私たち6名は、広報紙作成への思いを一つにして動き始めました。それは、市民の皆様にも、議会と市政に関心を持っていただくことのできる「議会だより」を目指すことです。

本市議会の広報活動には、インターネット中継、Webサイトによる情報提供、議会報告会、そして議会広報紙であるこの「議会だより」の発行があります。

今回掲載の12月定例会には、たくさんの方々に傍聴していただきました。引き続き、関心を持っていただける広報の充実に努めてまいります。(山根温子)

△発行責任者▽

議長 先川 和幸
副議長 山根 温子

委員 長 玉重 輝吉
副委員長 新田 和明
委員 山根 温子
玉重 輝吉
新田 和明
山根 温子

玉井 直子
新田 和明
山根 温子
玉重 輝吉
新田 和明
山根 温子